

不思議で懐かしい  
ニッポンの  
ファンタジー!

「<sup>うん</sup>雲<sup>じょう</sup>上雲<sup>うん</sup>下<sup>げ</sup>」  
朝井まかて

語り手は草で  
聞き手は子狐!?

でも、主人公たちは  
**タダモノ**じゃなかった。  
自ら、動き始めたんです。

著者  
コメント

日本の**民話**を小説として  
残したいと、志しました。